

3師団だより

師団長要望事項：「所命必遂」

発行
第3師団司令部広報室

今月の内容

- ☆ 平成21年台風9号による災害派遣
- ☆ 山口県防府市災害派遣（感謝の手紙紹介）
- ☆ 師団中級陸曹集合訓練
- ☆ 摂津祭り支援（第36普通科連隊）
- ☆ 戦車戦技競技会（第3戦車大隊）
- ☆ 各駐屯地盆踊りの一コマ
- ☆ 千僧駐屯地納涼行事に参加して（所感文）
- ☆ 健康相談室（司令部医務官室）
- ☆ ウンチク駐屯地

背景：佐用町において泥沼化した地域を搜索する第3特科隊の隊員

平成21年台風9号による災害派遣

台風9号の接近による激しい雨に見舞われた兵庫県佐用町で8月10日までに佐用川などが増水、多数の行方不明者が出た。

8月9日、午後9時42分、兵庫県知事は、第3特科隊（隊長：藤木1佐）に、災害派遣を要請。これを受けた第3特科隊は、速やかに連絡幹部を現地に派遣し自治体との調整、主力の誘導を行わせた。

10日午前5時半、浅野3佐以下100人が佐用町などで行方不明者の搜索活動を開始、宍粟市で第3後方支援連隊の隊員が給水支援を行った。また、宍粟市一宮町の福知川沿いの3地域で県道の寸断や橋の流失で、住民や旅館の宿泊者ら約100人が孤立し、第3特科隊及び第36普通科連隊の隊員が救出活動を行った。

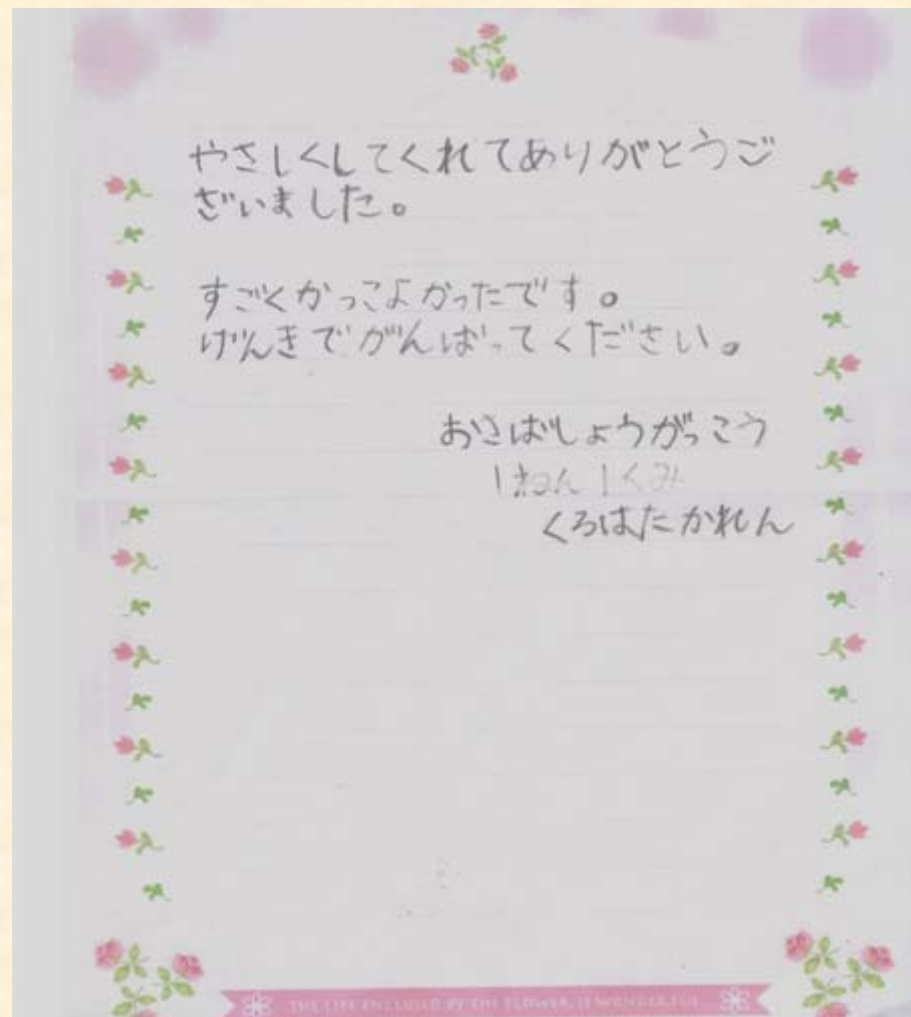
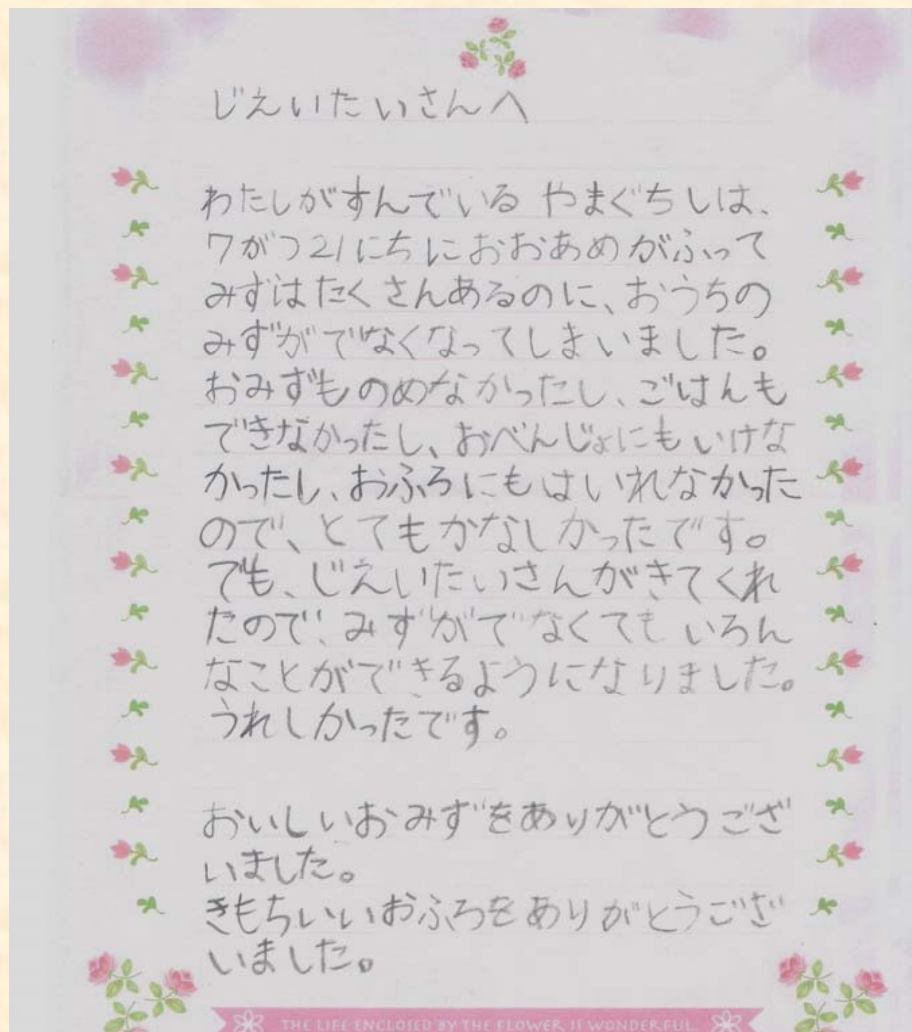
23日、兵庫県知事から行方不明者搜索の撤収要請を受けて災害派遣活動を終了した。

15日間にわたる派遣活動の延べ実績は、人員1,545名、車両等270両、行方不明者発見6名、給水255tである。派遣活動に従事した隊員は、一片の心残りとも充実感を胸に被災地を後にした。



山口県防府市災害派遣 ～小学生からの便り～

平成21年7月22日から30日の間、山口県防府市に対する災害派遣において、第13旅団の増援として給水支援及び入浴支援で活動した第3後方支援連隊補給隊に、地元の小鯖小学校1年生（くろはた かれんちゃん）から感謝の便りが届きましたので紹介致します。



(子供達は、世のため人のため、一生懸命活動する自衛隊員の姿を見えています。編集担当者)

師団中級陸曹集合訓練 ～部隊を支える中級陸曹～



外哨訓練で警戒方向を示す隊員



戦術基礎を学ぶ隊員

師団は、平成21年8月2日から8日までの間、猛暑の青野ヶ原演習場において、中級陸曹集合訓練を実施した。

これは、中級陸曹として必要な資質、知識及び技能を向上させるとともに、小部隊指揮官としてのリーダーシップを修得させることを目的に2等陸曹に昇任した直後の隊員が各部隊から参加し、師団最先任上級曹長（鬼軍曹：松浦准尉）が教官となり実践的な訓練が行われた。

学生は3コ区隊に編成され、実員訓練をはじめ戦術基礎等も積極的に学んだ。

8月5日には、副師団長から2等陸曹としての地位・役割、心構え等についての訓話があり、学生達は、自分たちの置かれている立場を改めて認識し、前向きに訓練に励んでいた。

今後は、ここで鍛え上げられた中級陸曹が部隊に活力を与えて行く。乞う！健闘

摂津祭り支援 ～第36普通科連隊～

第36普通科連隊（連隊長・佐藤1佐）は8月1日、2日、大阪摂津市の青少年運動広場で実施された摂津祭りにおいて、高機動車の装備品展示を行い、第3師団を広報するとともに、円滑な行事実施に寄与した。

展示場は、高機動車に乗った子供達の写真を撮る親達の人集りができ、賑わいをみせた。また、その中には隊員の説明に耳を傾ける方もたくさんいて、声がかかるほど…。

今回の装備品展示によって、多数の来場者に対しPRする事ができ、参加した隊員も「皆さんと楽しい一時が過ごせました。自衛隊に少しでも興味をもらえたら嬉しいです。」と満足そうに話しており、二日間の任務を無事終了した。



平成 2 1 年度 戦車戦技競技会 ～第 3 戦車大隊～



砂盤を用いて戦闘指導する様子



単車訓練の様子

第 3 戦車大隊（大隊長：高木 2 佐）は、平成 2 1 年 8 月 9 日から 1 0 日の間、滋賀県あいば野演習場において、「平成 2 1 年度 戦車戦技競技会」を実施した。

本競技会は、戦車乗員及び単車の練度を向上させるとともに戦車中隊の士気高揚及び団結強化を目的として、8 年ぶりに開催されたもの。

競技には、1 2 個グループ（1 個グループ：車長以下 4 名）が、参加し、学科試験、単車訓練及び単車戦闘射撃訓練の 3 部門にわたって行われた。

各乗員は、個々の練度向上を図るとともに乗員の相互連携を密にして競技会に臨みグループ一丸となり、優勝を目指して熱い戦いを繰り広げた。

成績は以下のとおり。

【優勝】第 1 中隊 車長：本常曹長 砲手：竹内 3 曹 操縦手：辻 3 曹 装填手：小田士長

各駐屯地納涼行事 ～地域住民とともに～

来場者数：6000名

姫路駐屯地（8月6日）

来場者数：800名

和歌山駐屯地（8月11日）

来場者数：18000名

千僧駐屯地（8月11日・12日）

来場者数：500名

福知山駐屯地（8月6日）

来場者数：2500名

信太山駐屯地（8月7日）

千僧駐屯地納涼行事 ～所感文～

大阪地本元女性防衛モニター 森田 芳子

陸上自衛隊恒例の盆踊り大会って、どんなのかしら。しかも予定は二日間・・・創立記念行事は一日だけなのに、この暑さの中で二日もやるの？案内状には「小雨決行」と並々ならぬ決意が表示されている。

これは行ってみなければ。

明日も暑くなるよ～、と言いたげな夕日が空を染める頃、千僧駐屯地グラウンドには賑やかな音楽が流れていた。

普段は厳重に閉じられている車両門が大きく開かれて、人々がどんどん入っていく。

納涼行事は駐屯地南側のグラウンド地域を開放して催されている。

駐屯地の敷地が国道で分断されていると不便な事が多いんじゃないかと思っていたが、今回の様に部分開放が出来るのは便利だと思う。道路の向こうに見える北側地域の正門には、通常通りなのだろう警備の自衛官が立っている。

創立記念行事では陸橋を使って入らせて貰うグラウンドに、道路から直接入るのは初めてだ。

受付で、制服の自衛官の方達が、丁寧に対応して下さった。盆踊り大会もお仕事のひとつなのね、と思ったが会場に入ると自衛隊のお仕事ぶりは、もっと徹底していた。

ゆかたを着た若い女性が飲み物を持って来てくれて誰かと思ったら、女性自衛官だった。接客担当の女性自衛官は、赤やピンクの若々しいゆかた姿が、とても可愛らしい。中には黄色のタスキがけで甲斐甲斐しく立ち働く、ゆかた娘もいる。

雰囲気盛り上げる効果はバツグンだ。

制服とは別の魅力と言え、男性自衛官も決してラクはしていない。

本格的に組み上げられた櫓の踊り場で、自衛隊キャラクターのピクルス王子&パセリちゃんに加えて、「ゆるキャラ」で人気の着ぐるみ、兵庫の「はばタン」と奈良の「マントくん」がいる。 ※次ページへ



森田 芳子さん：写真中央

じっとしていても汗がジワッと出て来るこの暑さに、全身着ぐるみ。しかも、楽しそうに踊っている。あーれーは一暑いぞー。

中に入っているのは、やっぱり自衛官だろ～なァ～。全身スッポリでサウナ状態は確実、いやいや頭部の被り物だけでも、汗が目に入っても拭けないから大変だ。

あ～、そんなに動かなくてもイイのに。

いくら体力に自信アリの自衛官でも、暑さは一緒なのでちょっと心配。

しかし、櫓を降りたキャラクター達は子供達に大人気で、握手や写真撮影に大忙しだ。あの視野の狭さで良く対応してらっしゃること。私もポーズを決めてくれたパセリちゃんをパチリと一枚♪。

顔は見えなくても、表情は身体に出るものだ。絶対に満面の笑顔をしてくれたと思う。

あの暑さの中、決死の活動である。

汗をかいて行事を盛り上げているのは、野外売店も同じだ。この方達の働きが無ければ、会場中がひもじくなる。ものすごい熱気と湯気と煙の中で、フル回転で焼きソバ、お好み焼き、焼き鳥などが作られている。

隊員の方達が、威勢よく売り声を上げる。

そう、ココは自衛隊のお店。

アツアツがオイシイものばかりだが、出来ると同時に売れて行く。

その原因は、何と言っても目を疑う安さにある。焼きソバ250円、焼き鳥2本100円と、原価のみ、コストゼロとしか思えない値段だ。

千僧駐屯地に所属する各隊が出店しているのだが、さすがに地元の方は良く知っている。

狙い目、名物、お得な店から長蛇の列が出来、中には早々に完売して店仕舞いする所もある。

特に射的の店は、一回100円の安さに加えて、モデルガンのマニアックさとの的の緻密さで大人気。「1整焼き」と大書された店は、固定ファンを獲得しているらしく、開店早々から最後尾が見えない程の行列である。

それぞれのテントに各隊の旗が誇らしげにはためいている。フツーの物より、隊の名前を付けた特徴のある物が喜ばれると思う。

各隊に期待したいが、「レンジャー特製☆山ウナギの串焼き」や「陸自オリジナル♡オリーブドラブジュース（青汁）」は、謹んでご遠慮したいので、そこのところヨロシク♪

各隊の特製メニューの人気コンテストがあれば、楽しいと思う。

衆院総選挙を控えたこの時期、ワイドショーでは「各地の盆踊り大会に候補者が熱心に顔出ししている」と報道されている。さぞかしこちらにも候補者が来ているだろうと思ったが、選挙の為の運動は全然見なかった。※次ページへ

あれ？何でかしら。

その訳は、ゆかた姿の千僧駐屯地司令が櫓で挨拶された時に分った。

着ぐるみや被り物を通して中にいる人の表情が分る様に、沢山の人の前に立つと人柄が出るのだ。

政治家同士の演説会なら同業者だからまだマシだが、この地の責任者であり、先頭に立って大勢の自衛官を統率する駐屯地司令と、政治家として指導者の資質を比べられたら、選挙活動は圧倒的にマイナスだ。

私達、一般人でもそれくらいの違いは分るのである。

千僧駐屯地盆踊り大会が世間の流れをヨソに、家族連れや学生達、踊りの婦人連が集って、のんびりと賑わっているのは、そんな訳があるようだ。

それにしても、二日続きの盆踊り大会の主催者としてパリッとノリの利いたゆかた姿で出席、挨拶、そして最後まで会場全体に気配りを絶やさない・・・駐屯地司令に、こんなお仕事まであるとは予想外だった。

千僧駐屯地の自衛官の方達も、案内や警備、接客や売店、こまめなゴミの回収など、暑い中、本当に良く働いておられる。

すっかり暗くなって、土のグラウンドを吹き渡る風が気持ちいい。会場は一段と人が増えた様だ。それも若い人が多くなった。

あれ、この子達、自衛官だ。可愛らしいゆかたを着て、金魚の様にヒラヒラしながら集まっている女の子達、そんな様子を珍しそうに見ているTシャツにジャージの男の子達。皆、笑顔でとても楽しそうだ。制服を着ている時とは全然違うみたい。まるで自分を律している縄を解いた様にリラックスして優しい雰囲気、とても安心して打ち解けている。

これは多分、この千僧駐屯地が彼女や彼等の「家」だからだ。自分の家にお客が沢山来て、楽しそうにしていると嬉しいものだ。その気持ちが伝わって、私達も居心地が良い。

櫓の上では太鼓が本調子、夜空に提灯の灯りが明るく映えている。

盆踊りはこの時期、つかの間戻って来られる精霊を迎え、慰める儀式だと祖父母に教えられた。夜風に優しく揺れる提灯の懐かしい灯りを眺めていると、今この時が夢のようだ。

千僧駐屯地の方達の心尽くしで実現した、一般の人と自衛官と、もしかしたら精霊も、一緒に輪になって楽しく集うこの空間こそが日本の絆の形なのだ。

これを真夏の夜の夢で終わらせず、私たち国民が自衛隊の方達と手を取り合って広げて行ったら、きっと良い未来がやって来る。

千僧駐屯地納涼行事は、そんな事を私に思わせてくれた。 おわり

医務官室【健康相談室】～あなたの目の前で同僚が倒れたら？～

医務官室 1等陸尉 木村 葉子



さあ、あなたの目の前で同僚が倒れたら
どうしますか？



1. 意識を確認する。
2. 助けを呼ぶ。（AED、救急車の要請をお願いします）
3. 呼吸を確認する。（普通の呼吸をしていなければ、人工呼吸を2回行なう）
4. 胸骨圧迫（心臓マッサージ）を開始する。
5. 胸骨圧迫（100回／分）と人工呼吸（1秒）は30：2の割合で行なう。
6. AEDが到着したら、機械のアナウンスに従って操作し、救急隊の到着を待つ。



あなたの勇気ある行動が、
命を救います！



ウンチク駐屯地 ～千僧駐屯地 その2～

千僧駐屯地は、伊丹市千僧の地に第3管区総監部として、昭和27年1月に創設され、第3施設大隊が善通寺から移駐し駐屯地の基礎を築きました。

その後、幾多の改編を経て現在は、第3師団司令部・師団司令部付隊・後方支援連隊・通信大隊・偵察隊・特殊武器防護隊・音楽隊・第318基地通信中隊・第352会計隊・第131地区警務隊・情報保全隊千僧派遣隊・千僧駐屯地業務隊が駐屯し1000名以上の隊員が勤務しております。

国道で分断された珍しい駐屯地です。北側は勤務隊舎及び生活地域で約8万 m^2 、南側はグラウンドを含む駐車場・整備工場区域で約5万2千 m^2 であり両区域を歩道橋で結んでおります。

特に駐屯地創設記念行事は第3師団創立記念行事と合わせて実施しており多くの観客で賑わいます。

民家に囲まれた狭いグラウンドで実施するパレードや模擬戦は却って迫力が増し、この日を楽しみにするファンは多いようです。

また、夏恒例の納涼盆踊りは、伊丹自衛隊協力会と共催し伊丹市が協賛、駐屯地周辺自治会等の賛助を得て全国的にも珍しく二日間にわたり実施しています。初日は部隊コンクール等自衛隊主体で、二日目は自治会・子供達等による市民主体の踊りとし観客は両日で1万8千人強を数えます。

さらに、伊丹に百年続くお祭りをと平成13年から始まった、よさこいや各種のダンスなどの「いたみわっしょい」に駐屯地をあげて隊員が参加し、戦闘服姿の統制美溢れた踊りで地域に溶け込んでおります。

以上、千僧駐屯地を紹介致しましたが、紙面では紹介し切れない名所・旧跡がたくさんあります。

関西にお越しの際は、伊丹空港（大阪国際空港）を利用の上、ぜひ千僧駐屯地にお立ち寄り下さい。